

曾於医師会立有明病院の具体的対応方針の変更について

〈これまでの経過〉

- 1 厚生労働省医政局通知「地域医療構想調整会議の進め方について」（平成 30 年 2 月）

個別の医療機関ごとの具体的対応方針の決定への対応

全ての医療機関については、地域医療構想調整会議において、構想区域の医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向を踏まえて、遅くとも平成 30 年度末までに 2025 年に向けた対応方針を協議すること。協議が調わない場合は、繰り返し協議を行った上で、速やかに 2025 年に向けた対応方針を決定すること。また、対応方針を決定した後に、見直す必要が生じた場合には、改めて地域医療構想調整会議で協議すること。

- 2 令和元年度第 1 回曾於保健医療圏及び肝属保健医療圏地域医療構想調整会議（合同会議）（令和元年 7 月）
公立病院及び公的医療機関（曾於医師会立病院，県民健康プラザ鹿屋医療センター，垂水市立医療センター垂水中央病院，肝付町立病院，肝属郡医師会立病院）の 2025 年に向けた具体的対応方針について合意
- 3 令和元年度第 2 回曾於保健医療圏地域医療構想調整会議（令和元年 11 月）
公立・公的医療機関以外のその他の医療機関の具体的対応方針の協議の進め方について協議
- 4 令和元年度曾於保健医療圏地域医療構想調整会議 医療関係者専門部会（令和 2 年 1 月）
公立・公的医療機関以外のその他の医療機関のうち，病院の 2025 年に向けた具体的対応方針について検討
- 5 令和元年度第 3 回曾於保健医療圏地域医療構想調整会議（令和 2 年 2 月）
曾於医師会立有明病院，昭南病院，大山病院，財部中央病院，財部記念病院，高原病院，中島病院の 2025 年に向けた具体的対応方針について合意

令和元年度第3回地域医療構想調整会議における合意内容

2025年に向けた具体的対応方針（「2025年に向けた計画」）

曾於医師会立有明病院

1. 医療機能ごとの病床数

(単位：床)

現状（2019年）		→	2025年	
高度急性期			高度急性期	
急性期	34		急性期	34
回復期			回復期	
慢性期	35		慢性期	35
休棟	70		休棟	0
介護保険施設等			介護保険施設等	
合計	139		合計	69

2. 2025年に担う役割の方針

2025年に担う役割の方針	
がん	
脳卒中	
心血管疾患	
糖尿病	○
精神疾患	
救急医療	
災害医療	
離島・へき地医療	
周産期医療	
小児・小児救急医療	
在宅医療	
その他	○

3. 「その他」の具体的な2025年に担う役割

各々の原因による心不全、誤嚥性肺炎を中心とする高齢者の肺炎、認知症、うつなどの高齢者の精神疾患等、慢性疾患の急性変化など幅広い高齢者疾患に対応する。

曾於医師会立有明病院の具体的対応方針と統合後のイメージ

	現在		→	当初の2025年の方針		→	変更後	
曾於 医師会 立有明 病院	高度急性期	0床		高度急性期	0床	→	廃院 統合後	
	急性期	34床		急性期	34床			
	回復期	0床		回復期	0床			
	慢性期	35床		慢性期	35床			
	休棟等	70床		休棟等	0床			
	合計	139床		合計	69床			
曾於 医師会 立病院	高度急性期	0床		高度急性期	0床		高度急性期	0床
	急性期	137床		急性期	162床		急性期	162床
	回復期	0床		回復期	0床		回復期	0床
	慢性期	0床		慢性期	0床		慢性期	0床
	休棟等	59床		休棟等	34床		休棟等	34床
	合計	196床		合計	196床		合計	196床